

復興支援フォーラムニュース No. 39

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫 (tkonno67@gmail.com) 中井勝己 (024-548-8313) >

第36回ふくしま復興支援フォーラム（2013年4月25日）<「中小企業の被害状況と復興に向けた課題～南相馬市原町区を中心に」／初澤敏生氏>で、寄せられたご意見等。

~~~~~

★南相馬市の中小企業の実情について詳しく報告していただいて、たいへん勉強させていただきました。さらに発展を考えた方策について少し入れていただきましたが、もう少し突っ込んでお聞きしたいと思いました。(T.S)

★地域の復興の妨げになっているのは、職やインフラがないことという話は、よく聞いていましたが、現場はむしろ人がいないこと自体が復興の大きなマイナス要因であることという点に考えさせられた。また、あと2～3年後に景気の底が来るという不安感があって、設備投資や新規雇用が進まないということのをうかがい、将来に希望を持つために何ができるのか、考えていかなければならないと思いました。(K.Y)

★復興計画の前に現状分析が必要であり、その分析の先に復興計画がなければならないということは、すでにできている復興計画は、どの程度、現状分析がされ策定されたものなのか、知りたいと思いました。(N.H)

★南相馬市が県内で一番状況が悪いということは理解していたが、先生の調査報告でより悪いことを知り、復興・再生の難しさを実感した。復興・再生に、行政はもちろんであるが、地元民を中心とした社会的企業の活用も必要かと思う。(R.N)

★人口減が、地域や企業にとって大ダメージと分かりました。(Y.T)

★南相馬のアンケートで、除染の問題が、最下位近くに下がっていることについての意味をもっと知りたいと思いました。復興へのまちづくりを、どのように進めればいいのか、考えるヒントをいただきましたが、それぞれの地域をより知り尽くして、知恵を出すという、難しい課題でもあると感じました。しかし、ここを一步、踏み出していかなければならない課題だと思いました。(Y.A)

★これまでの地域での問題が、原発を期に早く出現した事は、確かかも知れない。その深刻さは、先生のお話でよく理解できた。その上で、原発事故による特別な現れ方は何でしょうか。討論にもありましたが、何を中心に、また、支援等を組み合わせて、進んでいく道がより具体的にわかるとよいと思われた。特効薬がないとしても、少しでも早く進めるために。

★経済と情報が、(グローバル・高速化)下の中で、人が活動する中であって、世界の中の「この地域」と強く意識し、他者との交流連携を被災者自ら行わなければ、おいてきぼりとなる。この国のこの地域に住む意味が問われ続ける。差異の別称であるお金と、動物である人間をどめておくことは困難である。そう思う。(T.S)

★すでに仙台に依存している教育・経済・文化圏の南相馬は、福島県として or 仙台圏として、どちらをめざすの？(T.K)

★福島の産業の復興という中心的な課題が、よく整理されてわかりました。ありがとうございます。(J.M)

★この種の問題を考えるポイントがいろいろ紹介され有益であったが、各地域間の類型整理と、それらの比較等を、全県の視野(せめて浜通り全体)で展開してもらおうと、もっと有益であったかもしれない。もっと沢山のデータが欲しかった。(S.I)

★アンケートの結果の発表が主で、分析や展望が欲しかった。除染作業は、中間処分場のないままでは、税金の無駄遣いのように見えますが、経済学では力を注ぐべき仕事なのでしょうか。(M.T)

★「平時」の問題が災害によって拡大する、というのは他の問題(ジェンダー、障がい者、外国籍住民 etc)でもそうですが、産業の問題でも同じなのだと痛感しました。小高の食品加工業などは今後の地域の核になるのでは、と思っていたのですが(震災前)、原子力災害がありますから、これもむずかしいですね・・・。(J.T)

★中小企業の現状分析が素晴らしかった。非常に難しい状況だとは、つくづく実感しました。問題解決の特効薬はなく、地道にやるしかない、という言葉が印象的でした。(S.I)

★大変参考になりました。ありがとうございました。(S.K)

★地域の抱える厳しい現状調査で示された具体的データによって、あらためて目の前につきつけられた思いです。(Y.T)

=====

**【予告】**

第38回ふくしま復興支援フォーラム」(2013年5月23日(木) 18時30分～)

テーマ 「原発事故の惨状と新安全基準骨子案について」

報告者 伊東達也氏(原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

視聴覚室

(MAX ふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

=====